

Ⅲ 各地域の政策

平成28年度（2016年度）からスタートした「北海道総合計画」の「地域づくりの基本方向」に基づき、地域づくりを進めていきます。

◆ 地域づくりの基本的な考え方

今、本道は急速に進行する人口減少などの難題に直面しています。さらには、新型コロナウイルス感染症という危機の発生により人やモノの流れが抑制されるなど、新たな課題も表面化してきています。

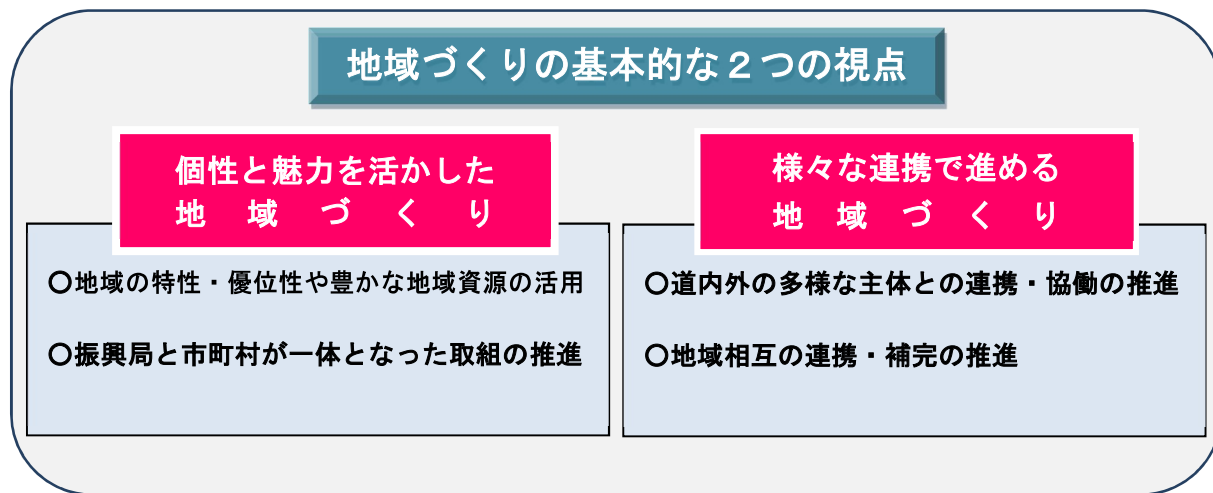
一方、新型コロナウイルス感染症への対応を進める中で、人々の考え方や行動に変化が生じ、距離や地域構造などこれまで本道にとってハンディとなっていたものが新たな価値へ転換してきているほか、デジタル化の推進や脱炭素化及び気候変動への適応に向けた動きの加速化など、社会が大きく変革する兆しが見えはじめています。

こうした中でも本道が将来にわたって発展していくためには、道民及び市町村の創意と主体性が発揮され、これまで以上に地域の特性や資源などを活用した取組が持続的に進められることが必要であり、そうした取組の効果を高めるため、官民連携をはじめ多様な主体と連携・協働していくことが重要となります。

また、広大な本道の地域振興を効果的に進めるためには、コミュニティや集落といった身近な生活単位から、市町村、保健医療福祉圏、振興局所管地域、連携地域といった様々な地域の単位において、人と人とのつながりや地域と地域の結びつきにより、相互に連携・補完し合うことが必要です。

加えて、地域の実情に即した課題を解決していくためには、地域づくりの拠点である振興局の機能強化や、地域の意向を踏まえた権限移譲など地方分権に係る取組を進めるとともに、ふるさと納税やクラウドファンディングといった民間資金の活用を進めていく必要があります。

このため、『輝きつづける北海道』の実現に向けて、次の基本的な2つの視点に基づき、北海道総合計画第3章「中期的な推進方向」に掲げる3つの重視すべき視点も踏まえながら、地域の総力により地域づくりを進めます。



◆ 個性と魅力を活かした地域づくり

【地域の特性・優位性や豊かな地域資源の活用】

- ・地域づくりを進めるにあたっては、地域の特性や豊かな地域資源を活かし、産業間の連携や分野横断的な連携による取組を進めるとともに、地域づくりを担う多様な人材を育成・確保します。
- ・豊かな再生可能エネルギーや優れた自然環境、広大な森林など北海道の優位性を最大限に活用して、2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現による持続可能な地域づくりを進めます。
- ・国から道へ、道から市町村への事務・権限移譲を推進することで、創意と主体性が存分に発揮できる地域づくりを進めます。

【振興局と市町村が一体となった取組の推進】

- ・振興局が地域づくりの拠点として市町村との連携を一層強め、地域の実情に応じた施策を効果的に展開します。
- ・地域づくりを担う多様な主体の育成・確保とその活用、地域を重視した職員の配置、職員派遣などにより、振興局が市町村を積極的にサポートし、一体となって地域づくりを進めます。

◆ 様々な連携で進める地域づくり

【道内外の多様な主体との連携・協働の推進】

- ・道民や市町村はもとより、民間企業や金融機関、NPO、大学といった地域づくりを担う多様な主体のつながりを深め、これらの主体と連携・協働して、地域づくりを進めます。
- ・地域や地域の人々と多様な形で関わる関係人口や、資金提供、協働活動などにより北海道を応援して下さる道外企業などとも、地域づくりの担い手として連携・協働を図ります。

【地域相互の連携・補完の推進】

- ・市町村が様々な行政サービスを持続的に提供できるように、定住自立圏など国の広域連携制度の活用を図るほか、地域の実情や特性に応じた本道独自の取組を進めるなど、広域連携による持続可能な地域づくりを進めます。
- ・札幌市の都市機能と道内市町村が有する資源を結びつけ、産業振興や活性化の取組を推進するほか、札幌圏の住民が地域と多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図るなど、札幌市と道内市町村の双方がメリットを享受できる関係を構築します。
- ・道内市町村と首都圏をはじめ国内外の様々な地域とのつながりを深めることで、本道全体の発展につなげていきます。

◆ 計画推進上のエリア設定

「北海道総合計画」では、一定の人口規模以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で拠点性の高い札幌市、函館市、旭川市、釧路市、帯広市及び北見市を「中核都市」と位置づけ、これらを拠点とする6つのエリアを「連携地域」として設定しています。

また、連携地域を構成し、地域づくりの拠点である14の「振興局所管地域」についても計画推進上のエリアとして設定し、それぞれのエリアの特性を活かした地域づくりを進めることで本道全体の活性化を図ります。



連携地域	中核都市を拠点に、第三次保健医療福祉圏における保健医療福祉サービスをはじめ、経済、教育など高度な都市機能サービスの提供などの役割を有する広域的なエリア
中核都市	人口規模が一定以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で高度な都市機能を有する都市
中核都市群	中核都市と相互に結びつきが強く、一体的に都市機能を発揮する都市
地域中心都市	エリアの中で都市サービスや日常的な生活ニーズなどの面において、中核都市の機能を補完する市や町
振興局所管地域	地域の実情に応じた政策を効果的に進めるため中核的な役割を担う振興局の所管エリア

◆ 地域づくりの推進の手立て

- 「北海道総合計画」の第5章「地域づくりの基本方向」は、長期的な視点に立った地域振興の方向を示すものであり、この方向に基づいた具体の施策や主な取組は、北海道地域振興条例第5条に基づく地域計画である「連携地域別政策展開方針」に基づき、地域における計画推進の要としての役割を担う振興局が中心となって、実効性の確保を図ります。
- 地域づくりを進めるに当たっては、北海道創生総合戦略に基づく取組に加え、北海道強靱化計画、北海道 Society5.0 推進計画、北海道地球温暖化対策推進計画に基づき、北海道の強靱化やデジタル化、脱炭素化などを図る取組、さらには、北海道交通政策総合指針に基づく交通ネットワーク形成の取組など、重点戦略計画や特定分野別計画に基づく取組と連携を図りながら、一体として推進します。

＜連携地域別政策展開方針＞

- 広域的な地域の区分ごとに地域振興を効果的に推進するための「地域計画」として位置づけ、市町村や民間の方々など多様な主体の参画を得て策定する計画。
- 総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、6つの連携地域と14振興局の施策の展開方向や主な取組を示すもの。
- 連携地域別政策展開方針は、第2期北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置づけを併せ持ちます。

「連携地域別政策展開方針」について

1 方針の概要

「連携地域別政策展開方針」は、北海道地域振興条例に基づき、地域振興を効果的に推進するため、北海道総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、6つの連携地域ごとに策定する地域計画です。

道では、地域の総力により地域づくりを進めるため、市町村や地域の関係者の参画を得て、令和3年度（令和4年1月）から概ね4年を推進期間として策定しました。なお、第2期北海道創生総合戦略の「地域戦略」としての位置づけを併せ持ちます。

2 構成

○ **地域のめざす姿**

総合計画の終期である令和7年度を目途にめざす地域の姿

○ **これまでの取組と課題**

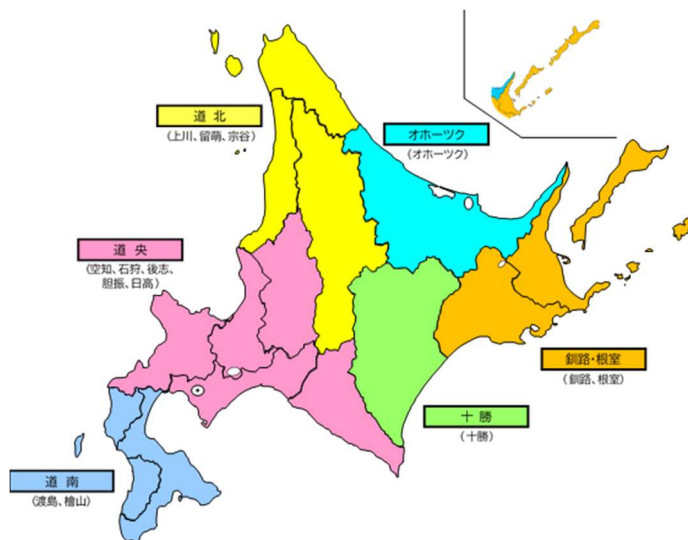
連携地域と振興局所管地域におけるこれまでの取組と今後の課題

○ **主な施策の展開方向**

方針の推進期間における連携地域の主な施策の方向、振興局所管地域の重点的な施策の方向

○ **地域重点政策ユニット**

「主な施策の展開方向」に基づき、重点的に取り組むプロジェクト



3 主なプロジェクト

各連携地域は、それぞれの地域のめざす姿の実現に向け、多様な主体と連携・協働して、地域の特性や資源などを活かしたプロジェクトを推進【全51プロジェクト】

連携地域	主なプロジェクト	主な施策	主なKPI
道央広域 【18プロジェクト】	日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■次代に「繋ぐ」炭鉄港 ■地域で「稼ぐ」炭鉄港 	<ul style="list-style-type: none"> ○炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数 7,250千人(R2) → 7,468千人(R7)
道南 【6プロジェクト】	縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進 ■遺産を活用した誘客促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取組を行った施設数（渡島地域） 1施設(R2) → 11施設(R7)
道北 【13プロジェクト】	魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光入込客数（道北連携地域） 2,260万人(R1) → 2,504万人(R7)
オホーツク 【5プロジェクト】	オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■移住・定住の促進に向けた取組の推進 ■若年層の地元定着促進に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規高卒者の管内就職内定率 67.7%(R2) → 75.0%(R6)
十勝 【4プロジェクト】	未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■自然環境の保全・適正利用や、再生可能エネルギーの活用などによるゼロカーボン北海道の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゼロカーボンシティ表明市町村数 1市町村(R2) → 19市町村(R7)
釧路・根室 【5プロジェクト】	「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ■社会システムの脱炭素化と再生可能エネルギーの最大限の活用 ■森林等の二酸化炭素吸収源の確保と自然環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ○新エネルギー発電設備容量 47.4万kW(R1) → 52.8万kW(R7)

4 推進管理

方針を効果的に推進していくため、振興局は「地域づくり連携会議」において、各プロジェクトの進捗状況等の点検・評価を行い、必要に応じて取組内容の充実を図るなど、PDCAサイクルによる推進管理を行います。


道央広域 連携地域	空知地域 石狩地域 後志地域 胆振地域 日高地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」	

1 主な施策の展開方向

- 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進
- 豊かな自然環境と調和した持続可能な社会の構築
- 地域の特色を活かした多種多様な農林水産業の展開
- 本道経済をリードする産業の活性化
- 多彩な地域資源を活用した観光の振興
- 地域固有の文化や歴史の継承・活用
- 交流基盤整備の促進

2 地域重点政策ユニット 全19プロジェクト(※) (主なプロジェクトを掲載) (※)道南連携地域を中心に、石狩、胆振が連携する「縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト」を含む

<p>日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト【道央広域(空知、後志、胆振)】</p> <p>【施策】 ■次代に「繋ぐ」炭鉄港 ■地域で「稼ぐ」炭鉄港</p> <p>【KPI】 ○炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数 7,250千人(R2) → 7,468千人(R7)</p>	<p>アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト【道央広域(胆振、日高)】</p> <p>【施策】 ■胆振・日高地域が有する地域資源の魅力の発掘・磨き上げ ■地域の強みの国内外発信等による新たな人の流れの創出</p> <p>【KPI】 ○胆振・日高地域への観光入込客数 1,040万人(R2) → 1,994万人(R7)</p>	<p>道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト【胆振、空知、日高、上川、オホーツク、十勝】</p> <p>【施策】 ■各地域におけるジオパークを活かした特色ある取組の促進 ■道内ジオパーク間のネットワークの構築 ■道内ジオパークの連携による地域の魅力発信・関係人口の創出・拡大</p> <p>【KPI】 ○ジオパーク構成市町への観光入込客数 1,017万人(R2) → 2,130万人(R7)</p>	<p>未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト【空知】</p> <p>【主な施策】 ■ICTの活用などスマート農業の推進による農業生産力の強化 ■地域の特色を活かした企業や研究機関等の誘致に向けた取組の促進</p> <p>【主なKPI】 ○空知の耕作面積の維持 113,600ha(R2) → 113,600ha(R7)</p>
<p>石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト【石狩】</p> <p>【施策】 ■若者の地元定着・就業に向けた取組の促進 ■地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出 ■道外からのU・J・ターン等の促進</p> <p>【主なKPI】 ○若年層(15～29歳)の首都圏への転出超過数 3,352人(R1) → 3,139人(R6)</p>	<p>国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト【後志】</p> <p>【主な施策】 ■後志地域の食資源を活用したガストロノミーをテーマとした広域観光の推進 ■リゾートエリアを中心としたウィンタースポーツのほか、管内各地で取組を進めている夏季のサイクリング、ラフティングなどのアドベンチャータラベルの推進による地域の魅力向上</p> <p>【KPI】 ○観光入込客数 2,142万人(R1) → 2,500万人(R7)</p>	<p>脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト【胆振】</p> <p>【施策】 ■多様なものづくり産業拠点の形成促進 ■産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興 ■再生可能エネルギーの普及や自然環境の保全などによる脱炭素化の取組推進</p> <p>【主なKPI】 ○新エネルギー発電設備容量 86.7万kW(R2) → 122.2万kW(R7)</p>	<p>「ひたか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト【日高】</p> <p>【施策】 ■一次産業をはじめとする各産業の担い手等の確保・育成 ■教育機関と連携・協働した人材の育成 ■移住・定住の促進に向けた住環境などの整備</p> <p>【主なKPI】 ○新規就業者数(漁業) 11人(R2) → 14人(R7)</p>

道南 連携地域	渡島地域 檜山地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	個性豊かな歴史や文化、食や自然の魅力を高め、環境と経済が調和しながら成長し続ける北の懸け橋「道南連携地域」	

1 主な施策の展開方向

- 北海道新幹線の札幌開業やポストコロナを見据えた交流・定住の促進
- 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組の推進
- 持続可能な農林水産業の確立
- 安心して暮らせる地域社会の維持
- 地域経済の活性化と雇用の創出
- 縄文遺跡群を活かした地域振興

2 地域重点政策ユニット 全6プロジェクト

<p>北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト【道南(渡島、檜山)】</p> <p>【施策】 ■北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大 ■個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実 ■道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進</p> <p>【主なKPI】 ○観光入込客数 渡島地域 688万人(R2) → 1,371万人(R6) 檜山地域 105万人(R2) → 150万人(R6)</p>	<p>道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト【道南(渡島、檜山)】</p> <p>【施策】 ■温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進 ■地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進 ■吸収源対策としての森林の適正管理と自然環境の保全</p> <p>【主なKPI】 ○ゼロカーボンシティ表明市町村数 渡島地域 0市町(R3) → 6市町(R7) 檜山地域 0町(R3) → 4町(R7)</p>	<p>地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト【道南(渡島、檜山)】</p> <p>【施策】 ■農林水産業の生産力向上 ■農林水産業の付加価値向上と販路拡大 ■農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進</p> <p>【主なKPI】 ○造林面積 渡島地域 2,728ha(H27～R1) → 4,341ha(R2～R6) 檜山地域 1,050ha(H27～R1) → 2,084ha(R2～R6)</p>
<p>暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト【道南(渡島、檜山)】</p> <p>【施策】 ■公共交通の維持・確保 ■安心で質の高い医療・福祉サービスの強化 ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進</p> <p>【主なKPI】 ○地域公共交通計画策定カバー率 渡島地域 36%(R3) → 100%(R5) 檜山地域 14%(R3) → 100%(R5)</p>	<p>地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト【道南(渡島、檜山)】</p> <p>【施策】 ■地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進 ■産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着</p> <p>【KPI】 ○食の個別相談会等での商談成約件数 281件(H26～H30) → 300件(R2～R6)</p>	<p>縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト【渡島、檜山、石狩、胆振】</p> <p>【施策】 ■縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進 ■遺産を活用した誘客促進</p> <p>【主なKPI】 ○多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取組を行った施設数(渡島地域) 1施設(R2) → 11施設(R7)</p>

III 各地域の政策

道北	上川地域 留萌地域 宗谷地域	政策展開方針概要	地域の めざす姿	広大な土地や特色ある自然環境、 多様な資源を活かした産業が展開し、 心豊かで安心して暮らせる「道北連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- 地域特性を活かした産業振興
- 多様な魅力あふれる観光の振興
- 豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり
- 離島地域の振興
- 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全13プロジェクト（主なプロジェクトを掲載）

魅力ある地域資源を活かした 「きた北海道」への来訪促進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	安全・安心な地域づくりプロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	新エネルギー導入・活用推進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	ロシア極東との交流推進プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】
【主な施策】 ■特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信 ■空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化	【施策】 ■全ての世代が安心して暮らせる環境づくり ■災害(地震、津波、大雨、火山等)に対する防災体制の強化等	【主な施策】 ■地域が連携した新エネルギー導入促進の取組 ■木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進	【施策】 ■サハリン州等との友好交流の推進 ■ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進
【KPI】 ○観光入込客数 2,260万人(R1) → 2,504万人(R7)	【主なKPI】 ○認定こども園設置数 40カ所(R1) → 64カ所(R6)	【主なKPI】 ○上川地域の木材・木製品出荷額 20,834百万円(H30) → 23,760百万円(R6)	【KPI】 ○北海道からロシアへの道産食品輸出額 454百万円(R1) → 726百万円(R7)
天塩川ブランド力向上プロジェクト 【道北(上川、留萌、宗谷)】	上川の地域産業を支える 担い手育成・確保プロジェクト 【上川】	るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト 【留萌】	地域の多様な人材が未来を創る 「宗谷LIFE」プロジェクト 【宗谷】
【施策】 ■地域連携による絆の強化 ■魅力創造・情報発信によるブランド力の強化	【施策】 ■農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進 ■地域連携による人材確保等の取組の推進 ■担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口の創出・拡大	【主な施策】 ■持続可能な農業の推進 ■日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興 ■地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進 ■森林資源の循環利用・木育の推進	【施策】 ■多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進
【主なKPI】 ○観光入込客数(天塩川周辺地域) 306万人(R1) → 340万人(R7)	【主なKPI】 ○テレワーク施設等を利用してワーケーションを行った人数(延べ人数) 642人(R2) → 4,494人(R7)	【主なKPI】 ○伐採材積 108,000㎡(R1) → 122,000㎡(R7)	【主なKPI】 ○若年層の転出超過数 178人(R1) → 800人以下(R2～R6)

オホーツク	オホーツク地域	政策展開方針概要	地域の めざす姿	豊かな地域資源を活かし、 自然と共生する快適な暮らしが広がる 「オホーツク連携地域」	
連携地域					

1 主な施策の展開方向

- オホーツクイメージの効果的な発信
- 農林水産業の強化
- 豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興
- 特色ある豊かな資源を活かした観光の展開
- 人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
- オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興
- 安心して暮らせる地域社会の形成
- 暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成
- オホーツク地域への人口定着の推進

2 地域重点政策ユニット 全5プロジェクト

省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト 【オホーツク】	豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト 【オホーツク】	多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト 【オホーツク】	オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト 【オホーツク】	豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト 【オホーツク】
【施策】 ■高収益で安定的な生産体制の整備 ■担い手の育成・確保 ■オホーツク産木材・木製品の利用促進	【施策】 ■多様な主体の連携促進 ■付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進 ■良質な農水産物の販路拡大	【施策】 ■オホーツクの魅力の効果的な発信 ■体験型・滞在型観光の推進 ■外国人観光客の受入体制づくりに向けた取組の推進 ■スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化 ■公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進	【施策】 ■移住・定住の促進に向けた取組の推進 ■若年層の地元定着促進に向けた取組の推進 ■担い手の育成・確保(再掲) ■公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進(再掲)	【施策】 ■豊かで優れた自然環境の保全と継承 ■地域資源を活かした「ゼロカーボン北海道」の推進
【主なKPI】 ○ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合 52.3%(R2) → 78.9%(R7)	【主なKPI】 ○「オホーツクブランド認証」新規認証件数 延べ50件以上(R2～R6)	【主なKPI】 ○「オホーツク地域に行ってみた」と考える人の割合 64.9%(R2) → 70.0%(R7)	【主なKPI】 ○新規高卒者の管内就職内定率 67.7%(R2) → 75.0%(R6)	【主なKPI】 ○ゼロカーボンシティ表明市町村数 0市町村(R2) → 9市町村(R7)

十勝	十勝地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	「食」を中心とした関連産業等の展開により、多様な主体が輝く、魅力ある道東の拠点「十勝」	

1 主な施策の展開方向

- たくましく強い農林水産業の展開
- 創造性あふれる産業の推進
- 地域資源を活かした観光振興と交流推進
- 地球環境に配慮した地域の脱炭素化の推進と未来技術を活かした地域づくり
- 生命(いのち)と暮らしを守り、安全・安心にいきいき暮らせる地域社会の形成

2 地域重点政策ユニット 全4プロジェクト

とち「食の拠点」確立プロジェクト 【十勝】	十勝の魅力を活かした滞在型・周遊観光推進プロジェクト 【十勝】	未来につなげる環境・先進分野十勝プロジェクト 【十勝】	十勝の未来を担う人づくり・地域づくりプロジェクト 【十勝】
【施策】 ■十勝産品を活用した商品開発やブランド力の強化及び販路の拡大 ■安全・安心な食の提供や安全性確保のための国際水準GAP認証取得の推進	【施策】 ■優れた資源を活かした魅力ある観光地づくりによる滞在の長期化と周遊観光、1年を通じた誘客の取組推進 ■円滑な移動に資する交通ネットワークの連携強化	【施策】 ■自然環境の保全・適正利用や、再生可能エネルギーの活用などによるゼロカーボン北海道の推進 ■十勝の優位性を活かした宇宙関連産業の展開 ■スマート農業などの未来技術の産業利用への取組推進	【施策】 ■地域産業を担う多様な人材の確保・育成や魅力ある就業環境の整備推進 ■安心して心豊かに住み続けたい地域づくり
【主なKPI】 ○国際水準GAPの認証農場数 31農場(R2) → 47農場(R7)	【主なKPI】 ○管内の宿泊客延べ数 122万人(R2) → 192万人(R7)	【主なKPI】 ○ゼロカーボンシティ表明市町村数 1市町村(R2) → 19市町村(R7)	【主なKPI】 ○新規卒業者の管内就職率(管内の高校) 86.09%(H28~R2の最高値) → 86.09%/年(R3~R7) ※毎年度、目標値以上

釧路・根室	釧路地域 根室地域	政策展開方針概要	地域のめざす姿	豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」	

1 主な施策の展開方向

- 基幹産業である農林水産業の持続的な成長
- 農林水産資源などを活かした地域産業の振興
- 世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大
- 豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築
- 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進
- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
- 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

2 地域重点政策ユニット 全5プロジェクト

農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト 【釧路・根室】	地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト 【釧路・根室】	「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト 【釧路・根室】	安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト 【釧路・根室】	北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト 【釧路・根室】
【施策】 ■農林水産業の生産力強化 ■地場産品の高付加価値化や国内外への販路拡大の推進 ■地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進	【施策】 ■地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進 ■地域一体となった移住・定住やワーケーションの推進	【施策】 ■社会システムの脱炭素化と再生可能エネルギーの最大限の活用 ■森林等の二酸化炭素吸収源の確保と自然環境の保全	【施策】 ■地域の医療体制の構築 ■子育て支援及び高齢化対策の推進 ■地域防災力の充実・強化	【施策】 ■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
【主なKPI】 ○農業産出額 2,037.0億円(R1) → 2,104.9億円(R6)	【主なKPI】 ○テレワーク施設等を利用してワーケーションを行った人数(延べ人数) 150人(R2) → 1,089人(R7)	【主なKPI】 ○新エネルギー発電設備容量 47.4万kW(R1) → 52.8万kW(R7)	【主なKPI】 ○患者の受療動向(圏域自給率) [入院患者] 釧路 97.1%(H28) → 99.1%(R7) 根室 54.9%(H28) → 90.5%(R7) [外来患者] 釧路 98.9%(H28) → 99.5%(R7) 根室 85.1%(H28) → 96.2%(R7)	【KPI】 ○北方領土返還要求署名数 30,480人(R2) → 33,000人(R7)